



目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
 - 2.1. 本書の目的
 - 2.2. 前提条件
 - 2.3. 対象読者
- 3. セットアップの流れ
- 4. ミドルウェアのセットアップ
- 5. WARファイルの作成
 - 5.1. モジュールの選択
 - 5.2. intra-mart Accel Platformの設定ファイル
 - 5.2.1. SAStruts用設定ファイル
 - 5.2.2. ファイルのアップロードサイズ設定
 - 5.3. intra-mart Accel Archiverの設定ファイル
 - 5.3.1. ログ設定
- 6. ミドルウェア製品の起動・停止
- 7. デプロイ
- 8. テナント環境セットアップ
- 9. 関連アプリケーションのインストール
 - 9.1. PDF変換・PDFセキュリティ付与ソフト
 - 9.2. PDF変換・PDFセキュリティ付与ソフトのインストール方法
 - 9.2.1. IM-PDFAutoConverterのインストール
 - 9.2.2. IM-PDFCoordinatorのインストール
 - 9.2.3. LibreOffice（Windows版）のインストール
 - 9.2.4. LibreOffice（Linux版）のインストール
 - 9.3. PDFタイムスタンプ付与ソフト
 - 9.3.1. IM-PDFTimeStamperのインストール
 - 9.3.2. IM-PDFTimeStamperの利用設定
- 10. 関連アプリケーションの起動・停止
 - 10.1. LibreOfficeの起動・停止（Windows版）
 - 10.2. LibreOfficeの起動・停止（Linux版）
- 11. ライセンスの登録
- 12. アップデート・パッチの適用
 - 12.1. アップデート
 - 12.2. パッチ
- 13. アンインストール

改訂情報

変更年月日	変更内容
2013-09-13	初版
2014-06-09	第2版 下記を追加・変更しました ■ 目次構成を改善しました（intra-mart Accel Platform と重複する内容を削除しました）。
2014-09-01	第3版 下記を追加・変更しました ■ 「モジュールの選択」を追加しました。 ■ サポートするPDF変換ソフトの追加に伴い、説明を見直しました。
2016-05-01	第4版 下記を追加・変更しました ■ 「LibreOffice（Windows版）のインストール」の画像を変更しました。 ■ 「LibreOfficeの起動・停止（Windows版）」の画像を変更しました。
2016-12-01	第5版 下記を追加・変更しました ■ 「LibreOfficeの起動・停止（Windows版）」のコマンドを変更しました。 ■ 「LibreOfficeの起動・停止（Linux版）」のコマンドを変更しました。
2016-12-22	第6版 下記を追加・変更しました ■ 「モジュールの選択」の説明に「画面アイテム連携モジュール」を追加しました。 ■ 「関連アプリケーションのインストール」の説明に「wkhtmltopdf」ツールの記載を追加しました。 ■ 「wkhtmltopdfのインストール」の説明を追加しました。
2017-04-01	第7版 下記を変更しました ■ 「モジュールの選択」の説明の「画面アイテム連携モジュール」の説明を変更しました。
2017-08-01	第8版 下記を追加・変更しました ■ 「モジュールの選択」の説明に「IM-LogicDesigner連携モジュール」を追加しました。
2018-08-01	第9版 下記を変更しました ■ 「関連アプリケーションのインストール」の説明を見直しました。 ■ 「関連アプリケーションのインストール」「関連アプリケーションの起動・停止」にLibreOffice使用時の注意事項について記載しました。
2019-12-01	第10版 下記を追加しました ■ 「ライセンスの登録」のページを追加しました。
2020-04-01	第11版 下記を変更しました ■ 「LibreOffice（Windows版）のインストール」の画像を変更しました。 ■ 「LibreOfficeの起動・停止（Windows版）」の画像を変更しました。 ■ 「LibreOfficeの起動・停止（Linux版）」の画像を変更しました。
2021-08-01	第12版 下記を追加しました ■ 「アップデート・パッチの適用」にアップデート適用前の説明を追加しました。
2021-12-01	第13版 下記を追加・変更しました ■ 「はじめに」の本書の目的に「intra-mart Accel Platform セットアップガイド」へのリンクを追加しました。 ■ 「ミドルウェアのセットアップ」ページを追加しました。 ■ 「WAR ファイルの作成」ページを追加しました。 ■ 「intra-mart Accel Platform の設定ファイル」ページを追加しました。 ■ 「intra-mart Accel Archiver の設定ファイル」ページを追加しました。 ■ 「ミドルウェア製品の起動・停止」ページを追加しました。 ■ 「デプロイ」ページを追加しました。

変更年月日	変更内容
2022-06-01	第14版 下記を追加・変更しました ■ 「モジュールの選択」に「IM-PDFTIMEStamper連携モジュール」を追加しました。 ■ 「intra-mart Accel Archiverの設定ファイル」に「PDFタイムスタンプ」を追加しました。 ■ 「関連アプリケーションのインストール」に「PDFタイムスタンプ付与ソフト」を追加しました。

はじめに

本書の目的

intra-mart Accel Archiver は、intra-mart Accel Platform 上で動作するモジュールです。
本書では intra-mart Accel Archiver に関するセットアップ内容について説明します。
基本的なセットアップ内容は、「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」を参照してください。

前提条件

リリースノートに記載されているシステム要件を満たしている必要があります。
詳細は「[intra-mart Accel Archiver リリースノート](#)」-「[システム要件](#)」を参照してください。

対象読者

以下の利用者を対象としています。

- intra-mart Accel Archiver のセットアップを行われる方

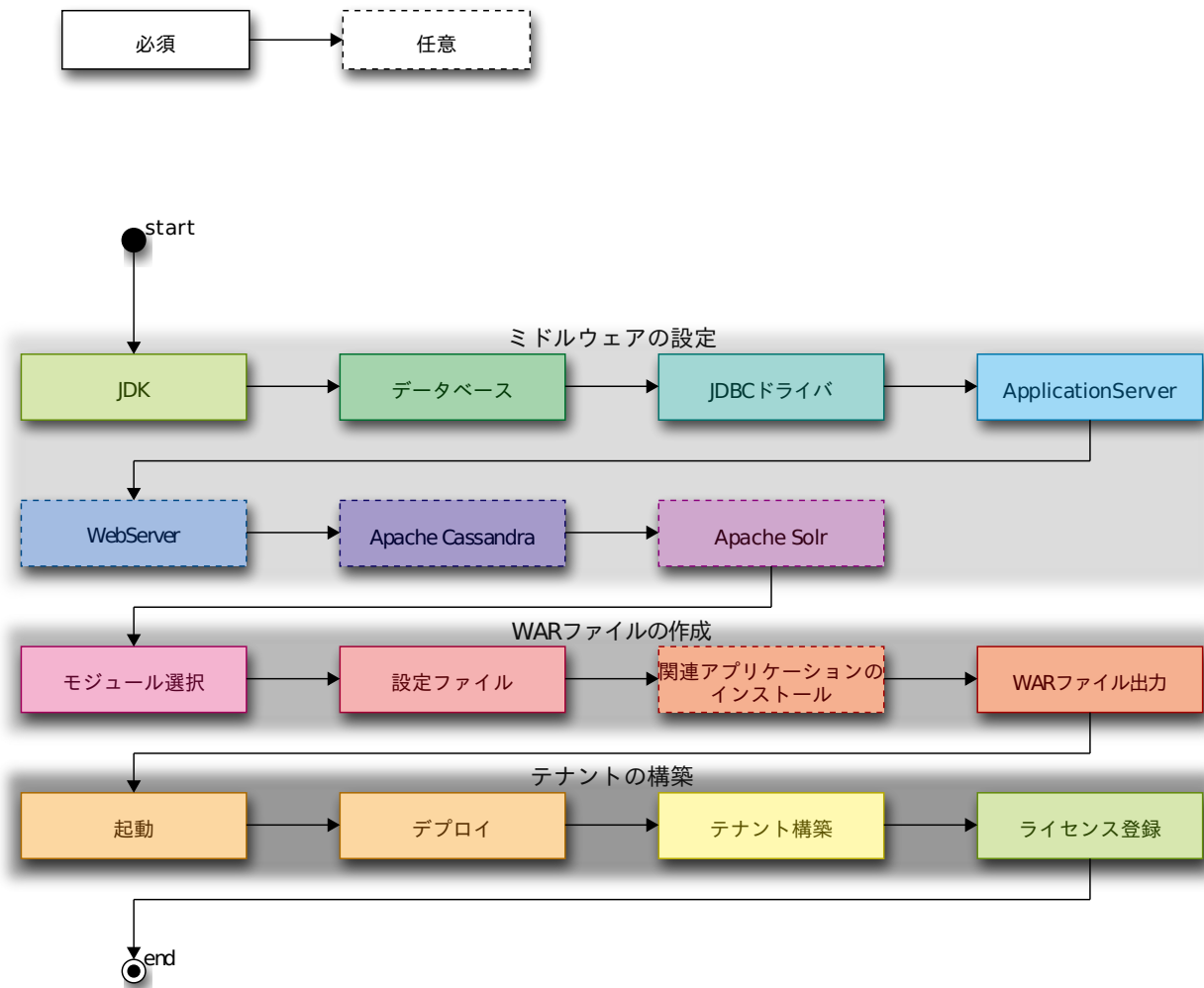
セットアップの流れ

intra-mart Accel Archiver セットアップの手順は次のフローチャートの通りです。
各ステップごとのセットアップ手順は一覧のリンク先を参照してください。

■ 凡例

必須・・・セットアップが必要な項目です。

任意・・・セットアップをスキップする事ができる項目です。



Name	Description
start	
JDK	JDK
データベース	データベース
JDBCドライバ	JDBCドライバ
ApplicationServer	Web Application Server
WebServer	Web Server
Apache Cassandra	Apache Cassandra
Apache Solr	Apache Solr
モジュール選択	プロジェクトの作成とモジュールの選択 ※選択するモジュールについては モジュールの選択 を参照してください。

Name	Description
設定ファイル	基盤の設定ファイル ※ intra-mart Accel Archiver では SASTruts を利用しますので https://www.intra-mart.jp/document/library/iap/public/setup/iap_setup_guide/texts/create_war/configuration_file_struts_index.html 設定が必須です。 また、ファイルアップロード時の上限サイズを制限したい場合は、 ファイルのアップロードを制限する方法 を参照してください。
関連アプリケーションのインストール	関連アプリケーションのインストール
WARファイル出力	WARファイルの出力
起動	Web Application Server の起動・停止
デプロイ	WARファイルのデプロイ
テナント構築	テナント環境セットアップ
ライセンス登録	ライセンスの登録
end	

ミドルウェアのセットアップ

- ミドルウェアのセットアップを行います。
詳細は、「[intra-mart Accel Platform を利用するためのミドルウェアのインストールと設定](#)」を参照してください。

- WARファイルの作成を行います。
詳細は、「[WARファイルの作成](#)」および以下を参照してください。

モジュールの選択

intra-mart Accel Archiverで利用できるモジュールは以下の通りです。利用するものを選択してください。
選択する際、依存関係のあるモジュールがインストール対象となっている必要があります。

機能名	説明
基本モジュール	intra-mart Accel Archiverの基本機能です。 インストール対象から外すことはできません。
IMBox連携モジュール	intra-mart Accel PlatfromのIMBox機能と連携する機能です。 新着ドキュメントの通知などをIMBoxに通知可能にします。
ポータル連携モジュール	intra-mart Accel Platfromのポータル機能と連携する機能です。 新着ドキュメントの通知などをポータル上に通知可能にします。
IM-ContentsSearch連携モジュール	intra-mart Accel PlatfromのIM-ContentsSearch機能と連携する機能です。 全文検索機能（コンテンツ・変更履歴として登録されたファイルに記載されている文字データから検索を行う機能）を利用可能にします。
IM-Workflow連携モジュール	intra-mart Accel PlatfromのIM-Workflow機能と連携する機能です。 ドキュメントを作成する際、ワークフロー（申請～承認）を利用を可能にします。
IM-PDFAutoConverter連携モジュール	IM-PDFAutoConverterと連携する機能です。 コンテンツ・変更履歴として登録された電子ファイルをPDFファイルに変換可能にします。 また、変換したPDFファイルにセキュリティ（印刷制限・編集制限・テキスト抽出制限）を設定することも可能です。 本機能を利用する場合は、IM-PDFAutoConverterをユーザモジュールから登録し、「IM-PDFAutoConverter連携モジュール」をインストール対象として選択してください。 本機能を利用しない場合は、「IM-PDFAutoConverter連携モジュール」をインストール対象から除外してください。 LibreOfficeを使用する場合は、「IM-PDFAutoConverter連携モジュール」をインストール対象から除外してください。
IM-PDFCoordinator連携モジュール	IM-PDFCoordinatorと連携する機能です。 変換したPDFファイルにセキュリティ（ブラウザ以外の参照制限）を設定することが可能です。 本機能を利用する場合は、IM-PDFCoordinatorをユーザモジュールから登録し、「IM-PDFCoordinator連携モジュール」をインストール対象として選択してください。 ※本機能を利用するにはIM-PDFAutoConverter、および「IM-PDFAutoConverter連携モジュール」のインストールが必要です。 本機能を利用しない場合は、「IM-PDFCoordinator連携モジュール」をインストール対象から除外してください。 LibreOfficeを使用する場合は、「IM-PDFCoordinator連携モジュール」をインストール対象から除外してください。
画面アイテム連携モジュール	IM-FormaDesignerとの連携機能を提供します。

機能名	説明
IM-PDFTimestamp連携モジュール	IM-PDFTimestampと連携する機能です。 PDFファイルにタイムスタンプを付与し、コンテンツとして登録する機能を提供します。

intra-mart Accel Platformの設定ファイル

- intra-mart Accel Archiverモジュールを追加後、必要に応じてintra-mart Accel Archiverを利用するための設定ファイルを編集します。

SAStruts用設定ファイル

- 「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド-SAStruts](#)」を参照し、設定してください。

ファイルのアップロードサイズ設定

- 「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド-ファイルのアップロードを制限する方法](#)」を参照し、設定してください。

intra-mart Accel Archiverの設定ファイル

- intra-mart Accel Archiverモジュールを追加後、必要に応じてintra-mart Accel Archiverを利用するための設定ファイルを編集します。

ログ設定

概要

- intra-mart Accel Archiverのログ設定を行います。
設定方法の詳細は [ログ仕様書](#) を参照してください。

ログ名	モジュール	設定場所	識別名
ドキュメント操作	基本モジュール	WEB-INF/conf/log/im_logger_wdc.xml	WDC_DOC_FILE
コンテンツ操作	基本モジュール	WEB-INF/conf/log/im_logger_wdc.xml	WDC_CONTENTS_FILE
フォルダ操作	基本モジュール	WEB-INF/conf/log/im_logger_wdc.xml	WDC_FOLDER_FILE
全文検索	基本モジュール	WEB-INF/conf/log/im_logger_wdc.xml	WDC_CONTENTSSEARCH_FILE
タスク登録	基本モジュール	WEB-INF/conf/log/im_logger_wdc.xml	WDC_TASK_MASTER_FILE
公開日到達処理	基本モジュール	WEB-INF/conf/log/im_logger_wdc.xml	WDC_PUBLIC_FILE
通知日到達処理	基本モジュール	WEB-INF/conf/log/im_logger_wdc.xml	WDC_NOTICE_FILE
メール通知処理	基本モジュール	WEB-INF/conf/log/im_logger_wdc.xml	WDC_MAILSEND_FILE
インポート処理	基本モジュール	WEB-INF/conf/log/im_logger_wdc.xml	WDC_IMPORT_FILE
自動登録処理	基本モジュール	WEB-INF/conf/log/im_logger_wdc.xml	WDC_DOCAUTOREG_FILE
サムネイル作成	基本モジュール	WEB-INF/conf/log/im_logger_wdc.xml	WDC_TASK_FILE
フォルダ使用量取得	基本モジュール	WEB-INF/conf/log/im_logger_wdc.xml	WDC_FOLDCAP_FILE
一括登録処理	基本モジュール	WEB-INF/conf/log/im_logger_wdc.xml	WDC_BULKREG_FILE

ログ名	モジュール	設定場所	識別名
保管期限到達 処理	基本モジュール	WEB-INF/conf/log/im_logger_wdc.xml	WDC_STOREARRIV_FILE
アイテム連携 ドキュメント 登録処理	画面アイテム連携モ ジュール	WEB- INF/conf/log/im_logger_wdc_item.xml	WDC_ITEM_DOCREG_FILE
拡張プロパ ティ操作	基本モジュール	WEB-INF/conf/log/im_logger_wdc.xml	WDC_EXPPROPERTY_MASTER_FILE
保存用検索条 件削除	基本モジュール	WEB-INF/conf/log/im_logger_wdc.xml	WDC_DEL_PRESER_CONDITION_FILE
PDFタイムス タンプ	IM-PDFTimestamp er 連携モジュール	WEB-INF/conf/log/im_logger_wdc.xml	WDC_PDFTIMESTAMP

ミドルウェア製品の起動・停止

- ミドルウェア製品の起動・停止を行います。
詳細は、「[Web Application Server の起動・停止](#)」を参照してください。

デプロイ

- デプロイを行います。
詳細は、「[WARファイルのデプロイ](#)」を参照してください。

- テナント環境セットアップについては、「[テナント環境セットアップ](#)」を参照してください。



注意

WARファイルに含まれているモジュールにより、テナント環境セットアップにて表示されるウィザードの順序が変わります。

PDF変換・PDFセキュリティ付与ソフト

PDF変換・PDFセキュリティ付与ソフトを導入することで、下記の機能が利用可能です。

- ・登録したコンテンツをPDFファイルに変換し、セキュリティ対策のオプションを設定する。
- ・コンテンツのサムネイル表示を行う。

以下の組み合わせより必要なソフトのインストールを行ってください。



注意

PDF変換ソフトは IM-PDFAutoConverter を推奨します。

※LibreOfficeの場合、変換精度が低く、画像等が正しくPDF変換されない場合があります。

	IM-PDFAutoConverter + IM-PDFCoordinator	IM-PDFAutoConverter	LibreOffice	インストールしない
サムネイル	表示可	表示可	表示可	表示不可
PDF変換	変換可 (変換精度：高)	変換可 (変換精度：高)	変換可 (変換精度：低)	変換不可
オプション				
・印刷制限 ・編集制限 ・テキスト抽出制限	使用可	使用可	使用可 ※	—
・ブラウザ以外の 参照制限	使用可	使用不可	使用不可	—

※ LibreOffice 使用の場合、既にPDF化されているファイルにはオプションを設定できません。



注意

IM-FormaDesigner、IM-BIS のフォームをPDFファイルとして intra-mart Accel Archiver のコンテンツとして登録する場合、「wkhtmltopdf」ツールのインストールが必要です。

「wkhtmltopdf」ツールのインストールについては、「[IM-FormaDesigner セットアップガイド](#)」の「[wkhtmltopdfのインストール](#)」を参照してください。

PDF変換・PDFセキュリティ付与ソフトのインストール方法

IM-PDFAutoConverterのインストール

以下よりインストール手順をご確認ください。

[IM-PDFAutoConverter](#)



コラム

PDF変換ソフトに IM-PDFAutoConverter を利用する場合、一時保存フォルダがC:/temp/iaaに作成されます。一時保存フォルダの場所を変更したい場合はデータベースのwdcm_envテーブル・env_idカラムの値が'wdcenv_pdf_tempfolder'であるレコードのvalueカラムに変更先のフォルダのパスを設定してください。フォルダのパスには半角英数字のみ使用できます。

IM-PDFCoordinatorのインストール

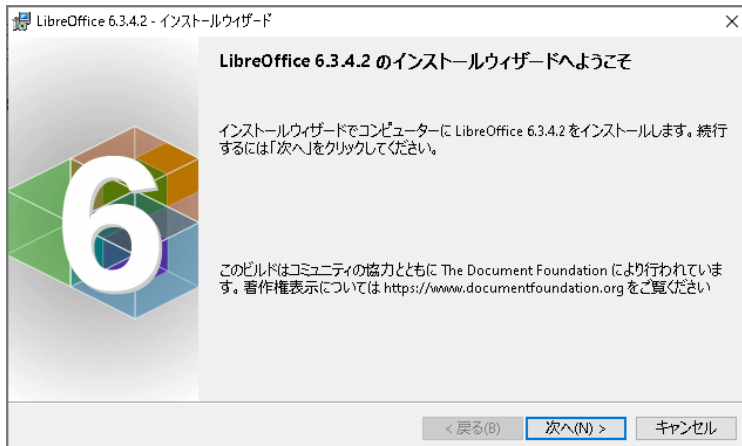
以下よりインストール手順をご確認ください。

[IM-PDFCoordinator](#)

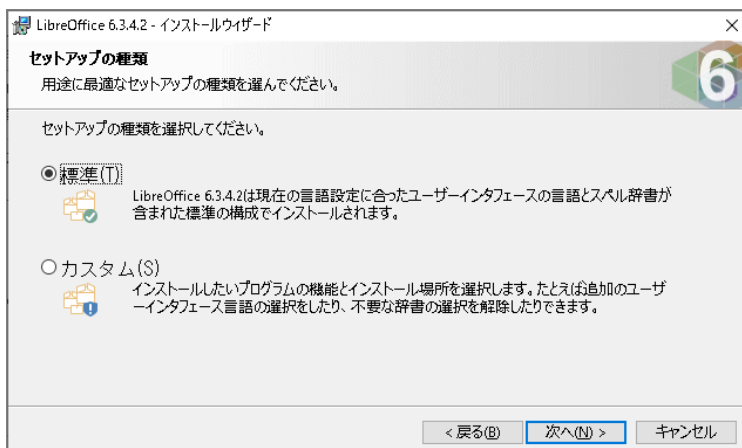
LibreOffice（Windows版）のインストール

intra-mart Accel Platform を分散環境で構築している場合には、各アプリケーションサーバにインストールする必要があります。
IM-PDFAutoConverter 利用時、本インストールは不要です。

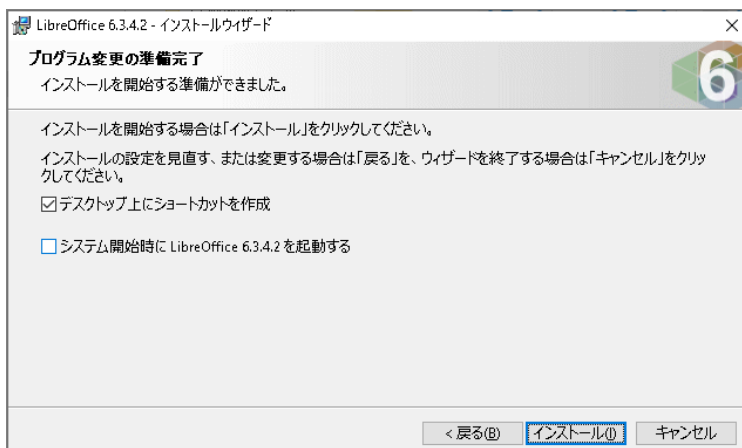
1. 「LibreOffice」のインストーラを下記のサイトからダウンロードしてください。
<http://ja.libreoffice.org/>
2. ダウンロードしたファイルを起動します。



3. 「標準」を選択した状態のまま「次へ」をクリックします。



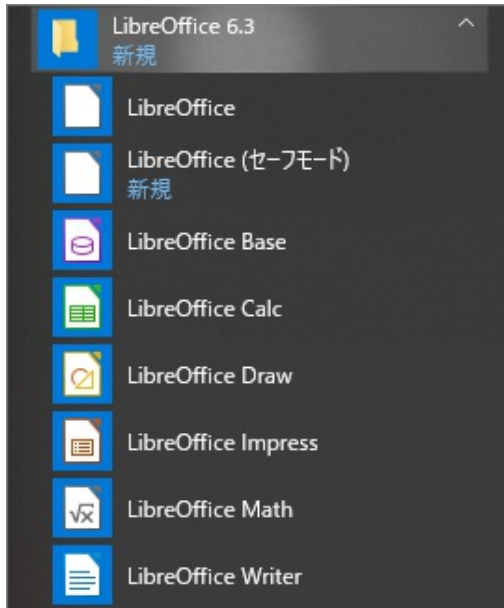
4. 特に指定しない場合は、デフォルト値のまま「インストール」をクリックします。



5. 「完了」ボタンをクリックします。



6. Windowsのスタートメニューに「LibreOffice」のメニューが登録されていれば、正常にインストールが完了しています。



LibreOffice（Linux版）のインストール

intra-mart Accel Platform を分散環境で構築している場合には、各アプリケーションサーバにインストールする必要があります。
IM-PDFAutoConverter 利用時、本インストールは不要です。

1. 「LibreOffice」のインストーラを下記のサイトからダウンロードしてください。
<http://ja.libreoffice.org/>

2. ダウンロードしたファイルを解凍します。

```
# tar xzf [ダウンロードしたファイル名]
```

3. ダウンロードしてできたディレクトリ内にある「RPMS」に移動します。

```
# cd [ダウンロードしたファイル名]/RPMS/
```

4. RPMSディレクトリ内のインストーラを全て実行します。

```
# rpm -Uvh *.rpm
```

5. RPMSの中にある「desktop-integration」ディレクトリに移動します。

```
# cd desktop-integration/
```

6. ショートカット作成用のインストーラを実行します。

```
# rpm -Uvh *redhat*.rpm
```

IM-PDFTimeStamperと連携することで、PDFファイルにタイムスタンプを付与し、コンテンツとして登録する機能を提供します。

IM-PDFTimeStamperのインストール

以下よりインストール手順をご確認ください。

[IM-PDFTimeStamper](#)

IM-PDFTimeStamperの利用設定

全てのセットアップ完了後に「Accel Archiver 管理者」でログインし、[システム設定画面](#) より下記の設定を行ってください。

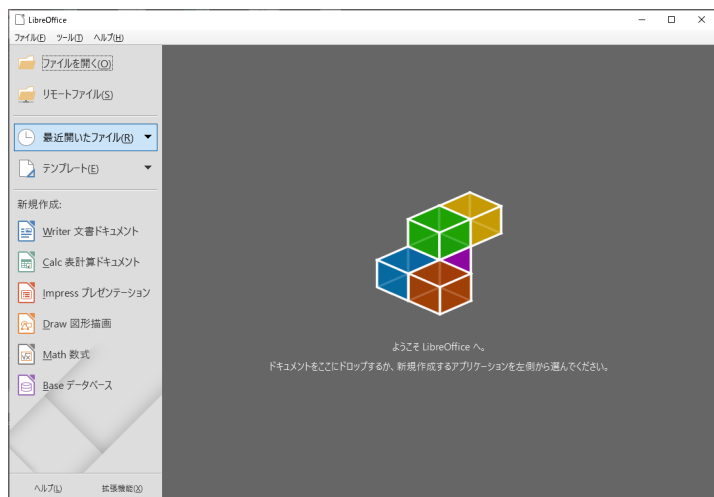
- ・ PDFタイムスタンプ利用可否
- ・ PDFタイムスタンプサーバURL
- ・ PDFタイムスタンプ接続ID
- ・ PDFタイムスタンプ接続パスワード
- ・ タイムスタンプ処理サーバURL（タイムスタンプ分散環境構築時のみ）

LibreOfficeの起動・停止（Windows版）

1. 以下のコマンドより LibreOffice を起動します。

```
# %LIBREOFFICE_HOME%/program/soffice.exe -accept="socket,host=localhost,port=8100,tcpNoDelay=1;urp;"
```

2. 以下の画面が表示されたら起動は完了です。



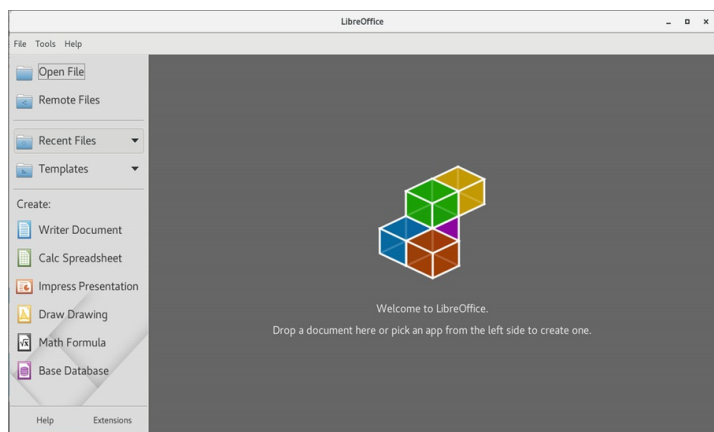
3. 停止するには、 LibreOffice の画面の「x」ボタンをクリックします。

LibreOfficeの起動・停止（Linux版）

1. 以下のコマンドより LibreOffice を起動します。

```
# %LIBREOFFICE_HOME%/soffice -accept="socket,host=localhost,port=8100,tcpNoDelay=1;urp;"
```

2. 以下の画面が表示されたら起動は完了です。



3. 停止するには、 LibreOffice の画面の「x」ボタンをクリックします。



注意

LibreOfficeはWindowsサービス/Linuxデーモンで常駐させることができないため、ログオフやスリープをするとプロセスが終了します。

LibreOffice利用時はログオフやスリープをしないように運用対処するようにしてください。

ライセンスの登録

ライセンスの登録を行います。

詳細は「[ライセンスの登録](#)」を参照してください。

アップデート・パッチの適用

- IM-Juggling を利用して最新モジュールを適用する事ができます。
詳細は、「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」 - 「[アップデート パッチの適用](#)」を参照してください。

アップデート

- アップデートの適用前に<%PUBLIC_STORAGE_PATH%/products/wdc/template/bulkreg> 配下の全ファイルを削除してください。
- アップデートの適用は、「[アップデートの適用](#)」を参照してください。

パッチ

- パッチの適用は、「[パッチの適用](#)」を参照してください。

アンインストール

- アンインストールについては、「[アンインストール](#)」を参照してください。
- LibreOffice のアンインストールについては、同製品の手順に基づいて実施してください。